

1. 目的

小田原中心市街地のアーバンデザインに向けての公民連携戦略を探り、展望する。

- 対象地区（地図参照）
・小田原駅周辺界隈、三の丸地区と周辺地区

2. ワークショップ方式の研究会

第1回 まちの動きを確認しよう（10月1日・まち歩き1）

三の丸地区の公共の空きストックを確認し、人々の回遊を促し日常利用を招く場の活用を検討。

第2回 アーバンデザインのタネと取組み（11月25日・まち歩き2）

民の建て替えやリノベの動きも見て歩き、「まちづかい」をつなげていく取組みを議論。

第3回 アーバンデザインに向けて（2月3日）

先行する公共空間活用やまちの居場所づくりの取組みも共有し、エリア特性に応じた公民連携のあり方を検討。



各回20名
前後の参加
があった。



3. 研究会の成果

（1）まちづくり情報マップの作成

公共空間再編、マンション開発、まちづくり団体の活動などの情報をマッピングし共有した。

（2）取組みの考え方を検討、確認

まち歩きと議論を通して、この地区での公民連携の取組に係る方向性を整理した。これまでは、①大規模拠点施設、②なりわい資産や邸園資産をつなぎまち歩きを促すことが中心であった。公共空間再編や地域活動、まちへの想いの声を確認して、これからの公民連携プラットフォーム戦略の考え方を提案した。

- ① 公的な資産活用は横つなぎ、点-線-面での多角的展開を
- ② まちのプレイヤー、仲間の集いの場を
- ③ 実験的な取組みでまちの方々に発信を

伸ばしたいこと

- ✓ 美味しい、子育てしやすいまちが移住者も惹き寄せる
- ✓ 木の生業、海の生業、農の生業が魅力 山七分海三分の環境
- ✓ 都会から一番近い城下町
- ✓ 「北条」をモチーフにブランディングに取り組みたい
- ✓ 茶処文化、屋台文化を受け継いでいきたい
- ✓ お堀端は市民の音楽、書や俳句など文化活動発表、表現の場になりうる
- ✓ 城址は四季の花と水辺をもっと楽しめると市民も集う
- ✓ 観光の人も日常のまちづかい風景は楽しい
- ✓ 小田原のまちの姿は骨格美人
- ✓ 小路や横丁にもあまり知られていない店や古い建物がある
- ✓ 松原神社の祭は新旧の人をつなぐ機会
- ✓ 地区公民館をコミュニティの開かれた活動拠点にしたい
- ✓ 空き店舗再生は所有者とつないでいく人の役割が大きい
- ✓ 残余的な小さな緑や社寺などの広場化、遊び場化の可能性

まちへの想い (研究会参加者からの声)

課題になること

- ✓ お城は市民が気軽に遊んだりする場所にはなっていない
- ✓ 観光と暮らしの共存を図りたい
- ✓ お城周りに子ども連れや青少年の居場所がない
- ✓ スーパーの閉店で日頃の買い物が不便
- ✓ 一方通行も多く慣れないと車は利用しにくい
- ✓ 観光は城だけに直行往復してしまう人が多い
- ✓ 少し離れたエリア（かまぼこ通り、西海子）まで巡らせるには目的地、休み処、モビリティに工夫が欲しい
- ✓ ホール催し後の夜のそぞろ歩き、ナイトライフを楽しみたい
- ✓ 宿泊観光の魅力を上げたい
- ✓ マンションや青空駐車場が街並みを味気ないものになっている
- ✓ 古い建物は片付けて使うのが大変
- ✓ 古家でも家賃が高めで貸してくれない

（3）エリアごとの公民連携の方向

3エリアの取組みを示す。それらを結び、さらに周囲ともつなぐ横方向の人の動きを促したい。

A 小田原駅周辺界隈 界限性を再発揮するまちへ

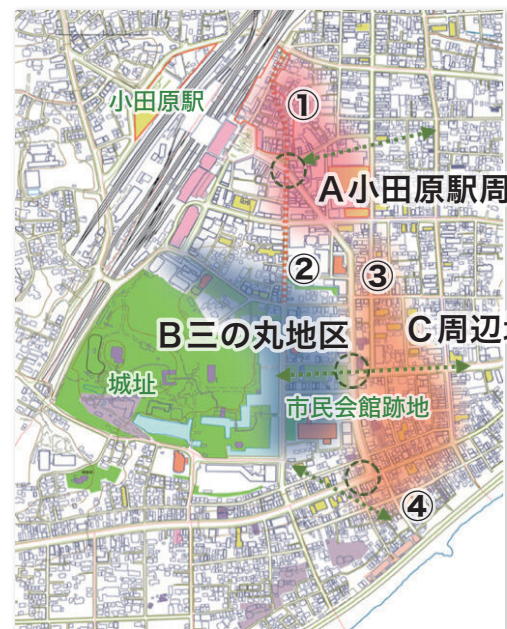
幅広い来街者を呼び込む界限性を重視し、店舗ビル跡や道路整備に伴うマンション等開発に、沿道のつながりや都市広場を誘導するビジョンと開発協議の仕組みが要る。

B 三の丸地区 まちのリビングに

再編が進む城址周辺の公共空間活用に、市民の活動の担い手を育てるとともに、空き施設にまちづくり情報、交流の拠点を誘導していきたい。

C 周辺地区 創造コミュニティ育て

リノベーションや個人店のプレイヤー同士のつながりと、不動産所有者やまちの方々の理解を促すためエリアからの発信を進めたい。



まちづくり
団体・組織等

- ① 小田原駅前東地区まちづくり協議会
- ② お堀端通り商店街振興組合
- ③ 銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会
- ④ 小田原かまぼこ通り活性化協議会

A 小田原駅周辺界隈 再開発の進むまち 界限性を再発揮するまちへ

大規模店撤退後個別
にマンション開発



エリアビジョン共有と街並み
協議の仕組み

つながりある
街並みと歩く
ストリートとの
一体デザイン

- ✓ 駅から出て街を歩き回る
- ✓ 広場に集う
- ✓ 食の楽しみ
- ✓ いろんなまちづかいを共存する
- ✓ まちなか居住に積極的な人の住まい

B 三の丸地区 公共空間の再編が連鎖的に進むまち まちのリビングに

お堀端商店街のイベント等



実験、仮設活用から活動づくり
まちづくりサロンになる場づくり

広場等の活用の
担い手を育てる

日常的な集いの
場、多彩な居場所
の誘導(弁財天曲
輪スクエア)

- ✓ 城への回遊歩き促す
- ✓ 子連れで外遊び
- ✓ 青少年が居場所見つけ仲間と会う
- ✓ 文化活動の発表
- ✓ 茶処、屋台文化でもてなし
- ✓ まちの情報を知る

C 周辺地区 リノベーションの進むまち 創造コミュニティ育て

リノベ事業者

域外からも出店者

空き店舗等所有者→
貸すかマンション建
設か
まちづくり団体など
の活動



貸し借りへの公的バックアップ
まちの方々の理解を広げるエリア
としての発信

創造や
チャレンジを
呼び寄せる

店主の顔や
活動が見える
小路横丁、
こまちなみ

- ✓ わざわざ店巡り
- ✓ アートや子育ての場を運営
- ✓ 若者たちの活動に触れる
- ✓ 神社祭礼で交流